

2 笠間栗ファクトリーが完成

4/29

笠間市・JR東日本・JA常陸が共同出資して設立した「笠間栗ファクトリー株式会社」の栗加工場の竣工式が行われました。

笠間栗ファクトリーは道の駅かさまの向かい側に位置し、工場の延床面積は487㎡。

9月に本格稼働予定で、秋頃には市内の菓子店舗などに、工場で加工された栗ペーストを使った商品が並ぶようになります。

笠間の栗のブランド力強化につながるよう、産地一体となって取り組みを進めていきます。



竣工式の様子



笠間栗ファクトリー



こんな出来事ありました

1 災害に備える

4/20

災害時に拠点となる避難所の運営を円滑に行うため、市職員を対象に資機材の取り扱い訓練を行いました。

拠点避難所の一つでもある市民体育館で行われたこの訓練では、避難所開設手順の確認や、テントの設営などを実施。

市職員も、こうした訓練を通して備えを行っていますが、災害はいつ発生するか予測ができません。

皆さんもぜひ日ごろからの備えを見直してみてください。



訓練の様子

3 芯までおいしい 台湾パイナップルににっこり

5/12

台湾パイナップルが笠間に届きました。

台湾と笠間市の食を通じた文化交流がはじまってから今年で4年目。

日本の農林水産省にあたる台湾の行政院農業委員会農糧署から、^{へいとう}屏東県産の台湾パイナップルが市内中学校に贈呈され、5月12日の給食に提供されました。

岩間中学校には、台北駐日経済文化代表處の李副代表が来校し、贈呈式と交流給食を実施。

芯まで食べられる甘いパイナップルに生徒の皆さんも「おいしい！」と声をそろえていました。



贈呈式（写真左：李副代表）

6 茨城アストロプラネッツ ポストが登場

5/16

プロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグに所属する『茨城アストロプラネッツ』のラッピングポストが市役所本所に登場しました。

アストロプラネッツデザインにラッピングしたポストの設置は茨城県内で初。

このポストは、市から日本郵便株式会社に寄贈したもので、寄贈式が5月16日に行われました。

アストロプラネッツのフレンドリータウンとして、笠間市の新たな名所になりそうです。

ぜひご利用ください。



日本郵政株式会社と株式会社茨城県民球団（茨城アストロプラネッツ）の皆さん、山口市長

4 地域再生のための 寄付に関する協定を締結

5/13

市とVena Energyグループである日本再生可能エネルギー株式会社、合同会社NRE-32インベストメントが、「地域再生のための寄付に関する協定」の締結式を行いました。

三者は令和3年12月に協定を締結し、すでに連携を開始していますが、感染症の状況により締結式の開催を見送っていました。

この協定は、市の地方創生を目的とする事業の必要性に賛同いただいたことから、企業版ふるさと納税制度を活用して行われるものです。

寄付は継続して行われ、昨年度は学校跡地利活用推進事業に活用し、今年度は脱炭素に資する取り組みに活用させていただくことになっています。



(写真左) 日本再生可能エネルギー株式会社 ホアン・マス・ヴァロー代表取締役

7 農産物の価値向上に向け 協定締結

5/25

市と東芝キャリア株式会社は「農産物の価値の向上および6次産業化に向けた連携協定」を締結しました。

この協定は、東芝キャリア株式会社との連携協力により、収穫した農産物の品質維持や価値向上に必要な冷凍・冷蔵技術のほか、その技術を用いた6次産業化などを検討するものです。

これにより「笠間の栗」の更なるブランド力強化を進めていきます。



(写真右) 東芝キャリア株式会社 久保取締役社長

5 県猟友会県北県央支部連が ブルーベリーの苗木を無償配布

5/15

県猟友会笠間支部の大須賀支部長をはじめ、水戸・城里・茨城・大洗・美野里・小川の各支部長や、笠間支部の皆さんが、5月10日～16日の「愛鳥週間」に合わせ、カスミ友部店でブルーベリーの苗木700本を、市民の方へ無償配布しました。

ブルーベリーが野鳥のエサとなることから、収穫する実を野鳥と分け合うという趣旨で毎年実施されています。



県猟友会県北県央支部連の皆さん